

所属	人間社会学部・人間形成学科	職名	教授	氏名	小嶋 秀幹
----	---------------	----	----	----	-------

1. 主な研究分野

社会精神医学、精神保健学を主な研究分野としている。特に、地域住民や対人援助職者に対する精神障害の啓発教育、自殺予防対策に取り組んでいる。こころに生じる問題、精神障害をいかにわかりやすく伝えるか、その研修方法に興味を持っている。近年の主な取り組みには、福岡県内を中心とした自殺予防ゲートキーパー研修会講師がある。その他、勤労者の精神保健、筑豊・田川地域におけるアルコール問題、思春期の精神保健（自傷行為やひきこもりの問題）、司法精神医学（精神鑑定）、高齢者の精神的健康のあり方などにも興味を持って研究・実務をしている。

2. 研究業績

①著書・論文

- ・中山 航、小嶋秀幹：大学生における愛着スタイルと母親への感謝の関連。福岡県立大学心理臨床研究 11；7-13、2019.
- ・井上拓哉、小嶋秀幹：保健福祉系大学生のインターネット依存傾向と精神的健康の関連。福岡県立大学心理臨床研究 10；23 - 26、2018.
- ・大石史香、小嶋秀幹：低出生体重児の親の会が参加者に提供する心理的支援一会話内容の質的分析一。福岡県立大学心理臨床研究 9；3-12、2017.
- ・小嶋秀幹、中島貴子：自傷行為をする親友に関わる際の心理についての質的調査。精神療法 42 (6)；75-84、2016.
- ・田中玲衣、小嶋秀幹：若手のスクールカウンセラーがその職務体験から得た意識についての質的調査。福岡県立大学心理臨床研究 8；11-24、2016.

②その他の業績

<学会報告>

- ・小嶋秀幹：大学・専門学校教員を対象にした、学生の心理的危機に初期対応する自己学習教材の効果。第 37 回日本社会精神医学会、2018.
- ・阿部 望、小嶋秀幹：ストレングスを用いた認知再構成法による心理教育プログラムの効果。第 42 回日本認知・行動療法学会、2016.
- ・Nozomi Abe & Hideki Kojima, A comparison of strengths-based cognitive restructuring and standard cognitive intervention for college students: A pilot trial. Cognitive Therapy Special Interest Group Exposition, The 50th Association for Behavioral and Cognitive Therapies, New York, 2016.
- ・小嶋秀幹：教育機関での取り組み～アルコール問題の啓発劇～。第28回九州アルコール関連問題学会、2016.

<教材開発>

- ・小嶋秀幹：大学や専門学校の教員が心理的危機状態にある学生と関わる際の手引き（平成 29 年度日本教育公務員弘済会研究成果物）、2018.

③過去の主要業績

- ・小嶋秀幹：民生委員からみた自殺対策の現状と課題—自由記述内容の質的分析から—。自殺予防と危機介入 34 (1)；41-47、2014.
- ・小嶋秀幹：民生委員が関わった自殺事例のプロセス—インタビュー内容の質的分析—。日本社会精神医学会雑誌 22 (2)；92 - 105、2013.
- ・小嶋秀幹：自殺の危険が切迫した人と関わる際の心構えとは—地域の事例を通して考えたこと—。自殺予防と危機介入 32 (1)；68-71、2012.

3. 外部研究資金 なし

4. 受賞 なし

5. 所属学会

- ・九州精神神経学会評議員・編集委員、日本精神神経学会精神科専門医
- ・日本精神神経学会、日本臨床心理士会、九州精神神経学会、日本社会精神医学会、日本自殺予防学会、日本司法精神医学会、日本アルコール・アディクション医学会、日本心理臨床学会、日本産業精神保健学会、日本保健福祉学会、福岡県臨床心理士会 各会員

6. 担当授業科目

精神保健学・2単位・1年・前期、子どもの保健Ⅰ-1・2単位・1年・前期、精神保健学Ⅰ・2単位・2年・前期、精神医学Ⅰ・2単位・3年・前期、老年期医学・2単位・3年・前期、精神保健学Ⅱ・2単位・2年・後期、精神医学Ⅱ・2単位・3年・後期、演習・2単位・4年・前期、卒業論文・6単位・4年・後期、特別研究・4単位・大学院1・2年・通年、臨床心理実習（学内）・1単位・大学院2年・通年、保健医療分野における理論と支援の展開・2単位・大学院1年・前期、精神看護セラピーⅡ・2単位・1年・前期（分担）、産業・労働分野に関する理論と支援の展開・2単位・大学院1年・後期、臨床心理基礎実習・2単位・大学院1年・通年、臨床心理実習（施設）・1単位・大学院2年・前期

7. 社会貢献活動

北九州いのちの電話評議員、嘱託産業医（北九州市、田川市）、嘱託医（ホームレス自立支援センター北九州、田川児童相談所）、産業医科大学医学部非常勤講師、福岡県自殺対策協議会委員、福岡市自殺対策協議会委員、香春町いじめ防止等対策委員会委員長、心神喪失等医療観察法判定医

8. 学外講義・講演

- ・職場のメンタルヘルス、飯塚市役所管理職研修会、6月
- ・精神保健福祉法・医療観察法、福岡県立大学心理臨床研究会、6月
- ・職場におけるメンタルヘルス、福岡県メンタルヘルス対策セミナー、7月
- ・地域における見守りや対応について、水巻町健康課研修会、8月
- ・子どもの問題行動と関わり方、福岡県立大学教員免許更新研修、8月
- ・自殺予防の基礎知識と関わり方、中間市保健センター研修会、9月
- ・自殺予防の基礎知識と関わり方、福岡市精神保健福祉センター研修会、9月
- ・学生のメンタルヘルス、福岡県看護専門学校教員研修、9月
- ・大学生の心理的危機と教職員の関わり方、西日本工業大学教職員研修、9月
- ・精神医学の基礎知識、北九州いのちの電話相談員研修、11月・12月
- ・大学生のこころの危機、福岡教育大学ゲートキーパー研修、11月
- ・学生のメンタルヘルス、福岡県立大学教員FD研修、12月
- ・自殺予防の基礎知識と対応、福津市自殺対策研修会、1月
- ・身近な人がこころの不調になった際の関わり方、田川市保健センター研修会、2月
- ・自殺予防の基礎知識と対応、うきは市自殺対策研修会、2月
- ・若者における心の危機と関わり方、田川保健所自殺対策研修会、3月
- ・こころの危機に関する基礎知識と関わり方、中間市保健センター研修会、3月
- ・医療福祉に携わる職員のメンタルヘルス、京築保健所研修会、3月
- ・自殺予防の基礎知識と対応、大野城市自殺対策研修会、3月

9. 附属研究所の活動等

- ・福岡県立大学附属研究所長
- ・不登校・ひきこもりサポートセンター幹事